花-TSUNAGIクラブ　『2023年２月フラワーアレンジ 花育活動（2022年度分）』

◎実施施設 ：社会福祉法人　児童養護施設　福岡育児院

◎日時 ２月１１日　(土)　１０：００～（入所児童　職員）1ステージ

◎参加者　合計　16名

入所児童　男子　3名　女子　8名

職員　5名

◎場所 福岡育児院　食堂

◎主催 花-TSUNAGI実行委員会

◎協力　福岡県農林水産部園芸振興課、NPO法人次世代のチカラFUKUOKA、福岡リバティLC 、花の力をプロデュース　オフィスメントアー

◎実施内容 ：～福岡県産の花をつかった～

『ハッピーバレンタインフラワーアレンジメント』

◎花卉提供：・JA福岡市　・JAにじ　・JAふくおか八女　・JAみい　・JA糸島

JAふくおか八女（筑後）・JAたがわ

◎花材：・フェアリーグリーン（JAたがわ）　・ガーベラ（ふくおか八女）　・ホワイトレース（ふくおか八女）　・ラナンキュラス（JAみい）　・カンパニュラ（JA糸島）・ストック（JA福岡市）　・カーネーション（JAにじ）

（ユーカリグーニー・他/持ち込み）

◎配布物提供：花あふれる福岡推進協議会

◎花リスト制作：株式会社シップス　（花-TSUNAGI実行委員会）

花材　（福岡花市場にて受け取った春の花々　　作品サンプル

【スケジュール】

2/10（金）・9時　福岡花市場にてJA全農ふくれん伊藤彰宏氏より受け取り

水揚げ作業

2/11（土）

・9時入室準備開始

スタッフ：花-TSUNAGI実行委員会　・北村義弘代表　梅田あさこ　山口みどり

福岡育児院の玄関には大きな雛段が飾られていました。

食堂での開催で、小さな児童向けに、背の低い机とテーブルを準備。

山口みどりから福岡県産マップを使用し、産地や花材の説明および、花あふれるふくおかの冊子の説明。（冊子を興味深そうに読みながら、花材と照らし合わせて観る子ども達が印象的でした。待ち時間にしびれを切らし、花あふれるふくおかの冊子や花材リストを観ながら質問も出てきた）

フラワーベースの使い方やハサミの持ち方、切り方のレクチャーを開始。

今回もフラワーベースに好きなシールを選んでもらい、オリジナルのフラワーベースを作ってもらった。それぞれに出来上がった、フラワーベースを見せ合いながら会話も弾んだ。
ガーベラ、カーネーション、ラナンキュラス、フェアリーグリーン（葉物）は各自選んでもらいそれぞれにアレンジメントをスタート！

（花選びも楽しそうで、花を触るのが初めての子は、遠巻きに花を観ながら、近づいてきてその姿もいじらしかった）

産地マップに興味を持った男子が、北村代表に質問していた。

この男子児童はまとめ役のようなムードメーカーであり、そばに寄って来ては、
納得が行くまで質問し、2回作り直し、立派なアレンジメントが出来上がりました。

ハーブ系のグリーンの香りが珍しく、「カレーみたい！」と盛り上がり笑いもでてほのぼのしました。

【集合写真可能な児童と職員と記念写真】

【感想】

　はじめて花育を行った福岡育児院でしたが、職員の方々も協力的で、子ども達の集中力や興味津々な眼差しに驚いておられました。急遽、参加できなくなった児童もおり、４セット余ったものはアレンジし、院内各所に飾ってもらうようプレゼントしました。

フラワーベースの扱いが難しく最初は悪戦苦闘していた児童も、自分なりに工夫を凝らし、作り上げていった。そのプロセスも良い体験になったと思う。
吸水スポンジと違い繰り返し使用できるため、「またこれにお花を飾ります！」と言ってくれる児童も多くおり、また「枯れても捨てません！」などの声も上がりました。
間引いた小さな蕾や花、葉も捨てれず、「先生どうしたらいいですか？」と質問に来た女児がおり、職員に頼み小さなカップをもらいそこに入れて貰った。そうすると、皆がまねをし、小さな花飾りがいくつも出来ました。
花も命あるものだと児童たちは知っていて、「花を通して慈しむこころ」を学び、改めて私たちスタッフも感動した出来事でした。

介助についてくれた職員も子どもたちの集中力と、笑顔に驚いていて次回の開催も嘆願された。

花-TSUNAGI実行委員会プロデューサー
オフィス　メントアー　代表
山口みどり